

第 6 回 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会
鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン 検討資料（抜粋）

令和 4 年（2022年） 3 月 1 日

鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインの検討スケジュール

令和2年度

0. まちづくりガイドライン基本方針

【参考】鎌倉らしさ、深沢らしさの整理

まちづくりのコンセプトを導く際に整理した、鎌倉らしさ、深沢らしさをまとめています。

令和3年度

庁内検討委員会第8・9回

策定委員会第4～6回

1. まちづくりのコンセプト

ガイドラインを策定するうえで、基礎となるまちづくりのコンセプトを定めます。また、まちづくりのコンセプトから空間ビジョンを導き出します。

2. まちづくりの骨格

まちづくりのコンセプト、空間ビジョンをもとにまちづくりの骨格を検討します。実現方針を「賑わい」「移動」「防災」「景観」の4種類で整理することで、まちづくりの骨格を導き出します。

3. オープンスペース

まちづくりの骨格から行政が整備するオープンスペースを抽出し、整備方針や空間イメージを検討します。

まちづくりのコンセプト及び骨格、オープンスペースは、ガイドラインの根幹であり、ぶれないように固める。

まちづくりのコンセプト及び骨格、オープンスペースは、それぞれが関連するため、同時に検討を行う。

令和4年度4～10月

策定委員会第7回以降

4. まちなみの誘導の基準

まちなみを誘導するための詳細なルールについて整理します。建築物の壁面線の後退距離、高さ、緑化率等のルールについて、検討します。

5. エリアマネジメント

エリアマネジメントを活用するまちの運営を検討します。ソフト面でのまちづくりの方針を検討します。

6. 運用と仕組み

ガイドラインをどのように運用し、活用させていくかを検討します。

まちなみの誘導の基準やエリアマネジメントは、事業の進捗に合わせながら内容を変更できるような運用と仕組みを考える。

まちなみの誘導の基準、エリアマネジメント、運用と仕組みは、それぞれが関連するため、同時に検討する。

答申

ガイドライン素案確定

住民向け説明会

パブリックコメント

ガイドライン確定

令和4年度11～3月

コンセプトの導き方

社会の潮流

SDGs
未来都市
・
ウォーカブル
推進都市
(国土交通省
2019)
・
スマート
シティ
(鎌倉市第四期
基本計画)

基本方針

テーマ

ウェルネス
ウェルネスを実現する
ウォーカブル

3つの視点

こことからだの健康を育むまち

イノベーションを生み出すまち

あらゆる人と環境にやさしいまち



<参考資料参照>
鎌倉・深沢の6つの特性を踏まえ、まちづくりのコンセプトを導き出す



まちづくりのコンセプト

緑と水に囲まれた、ウェルネスを実現するまち

～健やかで、移動しやすい、安全な、みどりに親しむ、

ウォーカブル

賑わい

移動

防災

景観

居心地が良く歩きたくなるまち～

【「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」基本理念より】

住宅・商業・工業等が共存し、健康な暮らし、ゆとりある心、人間らしいふれあい、地域の活力を生み出す『健やかで活力ある都心』、緑と水に囲まれた『輝く杜の都心』の創造をめざします。



※上図はイメージであり、建築物等の具体的な計画を示すものではありません。今後の検討によってイメージは変更される可能性があります。

コンセプトを実現するための実現方針

4つのレイヤーで受け止め、実現し、まちの骨格を形成する

賑わい

交流が生まれるウォーカブルなまちの形成

- ・ 活気に満ちたにぎわいを形成する
- ・ 鎌倉ならではの空間文化を再構築する

イノベーションによる賑わいと交流の創出

- ・ 新たな価値を創造・発信する場を創出する
- ・ 人的資源を生かした交流の場を創出する

スポーツの促進とヘルスケア産業との連携交流による健康の増進

- ・ いつでも どこでもスポーツに親しむことができる環境を創出する
- ・ 気軽に健康づくりに親しめる機会や場をつくる

移動

ウォーカブルな歩行環境の形成

- ・ 快適な歩行者ネットワークを形成する
- ・ 回遊ネットワークを創出する
- ・ ユニバーサルデザインを取り入れる

多様な交通手段を結びつけるシステムの構築

- ・ 徒歩と公共交通を中心とする交通ネットワークを形成する
- ・ 日常生活の利便性を高めるテクノロジーを活用する
- ・ 湘南深沢駅と新駅をつなぐ次世代公共交通システムを導入する
- ・ 地区外からの円滑な車両の誘導と歩行者動線に配慮する

防災

災害対応拠点の形成

- ・ 広域的な施策連携を図る
- ・ 民間と公共が一体となった地域の「災害対応拠点」を確保する
- ・ 災害に強いコミュニティを形成する

災害に対する防災性の向上

- ・ 自然災害（地震・火災・水害等）に対する防災性を向上する
- ・ インフラ災害（断水・停電等）に対する防災性を向上する
- ・ 防犯対策を向上する

激甚化する気象災害に対応するレジリエンスなまちづくり

- ・ 水害に強い基盤をつくる
- ・ 環境にやさしい建築を整備する

低炭素化を実現するまちづくり

- ・ 建築等の低炭素化を促進する
- ・ エネルギーマネジメントを活用する

景観

自然豊かな緑のネットワークの形成

- ・ 緑のネットワークを形成する
- ・ 都市の活力を高める緑を創出する
- ・ 自然環境と調和した景観を形成する
- ・ 水辺を生かした親水空間を創出する

景観資源を活かしたまち並みの形成

- ・ 歩行者目線の緑化の推進
- ・ 一体感を創出するまち並みの誘導
- ・ 周囲と調和する建築を誘導する

空間ビジョン

まちづくりのコンセプト

緑と水に囲まれた、ウェルネスを実現するまち

～ 健やかで、移動しやすい、安全な、みどりに親しむ、

ウォーカブル

賑わい

移動

防災

景観

居心地が良く歩きたくなるまち～

【「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」基本理念より】

住宅・商業・工業等が共存し、健康な暮らし、ゆとりある心、人間らしいふれあい、地域の活力を生み出す『健やかで活力ある都心』、緑と水に囲まれた『輝く杜の都心』の創造をめざします。

みどり

コンセプトを実現するための実現方針

賑わい

交流が生まれるウォーカブルなまちの形成
イノベーションによる賑わいと交流の創出
スポーツの促進とヘルスケア産業との連携交流による健康の増進



交流を生む賑わい空間（北谷公園）

賑わいが滲み出し、響き合う出会いと交流のネットワーク

移動

ウォーカブルな歩行環境の形成
多様な交通手段を結びつけるシステムの構築



ウォーキングコース（鶴間公園）

ウォーカブルで多様な交通手段を備える公共交通のネットワーク

防災

災害対応拠点の形成
災害に対する防災性の向上
激甚化する気象災害に対応するレジリエンスなまちづくり
低炭素化を実現するまちづくり



まちの防災拠点（岩瀬下関防災公園）

地域の災害対応拠点を強化するオープンスペースのネットワーク

景観

自然豊かな緑のネットワークの形成
景観資源を活かしたまち並みの形成



地域の魅力をつくる景観（南池袋公園）

周辺の緑地と連続する緑のネットワーク

空間ビジョン

ウォーカブルな
オープンスペースが
賑わい・移動・防災・景観
の受け皿となり
まち全体に
ネットワークされていく

緑の風と光を感じるまち

を形成することを目指し
検討を進めていく

多様性